

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010240

政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	B		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	教職員用パソコン導入(更新)事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成28年度		担当課	12	教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	配置台数		関係課	#N/A		
事業目標	60台		ハード/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
住民参加 住民協働	無		関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	教職員用パソコン更新整備事業	各小中学校教職員用パソコンバージョンアップ作業		雄武小学校 18台 雄武中学校 16台	沢木小学校 8台 幌内小学校 6台 豊丘小学校 8台 共栄小学校 4台		
	計 60台						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	20,970	1,426	0	9,957	9,587	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	20,970	1,426		9,957	9,587		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,571	1,571	0	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	1,571	1,571					
関 連 事 項	特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
			各小中学校教職員用パソコンバージョンアップ作業				
			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	60台		34台	26台	
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	110%	#DIV/0!	0%	0%	#DIV/0!
	全体達成率	7%	7%	7%	7%	7%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆					

事業名	教職員用パソコン導入(更新)事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課	課長 石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係	係長 武藤知憲

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	教職員	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	パソコン更新整備数
【抱える課題やニーズは】	Windows Xpのサポート期間の満了に伴い、使用しているパソコンの更新が必要となっている。	指標(指標計算式/解説)	目標年度及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	Windows Vista 又は Windows 7に更新し、サポート対応できるパソコンに更新し、授業及び学校経営の円滑化を図る。	① パソコン整備数	目標年度 平成25年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町内小中学校の児童生徒が平等な授業を受けることが保障されるとともに、各小中学校において教育水準の維持が図られる。		目標値 64台
			実績値 64台
			達成度 100.0%
		②	目標年度 平成25年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	パソコン整備	サポート対応が可能である、Windows7に更新しています。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	パソコンは学校運営を行うために必要不可欠であり、更新整備は、町が行う事業であると判断します。
必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	町内小中学校における全てのパソコンが更新できており、教育水準が保たれているため、必要な対策を講ずることができていると判断します。
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

	<input type="checkbox"/>	判断の理由	整備方法として、全てのパソコンを新しいものに変えるのではなく、バージョンアップ対応としたことにより、事業費は抑制されたと判断します。
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

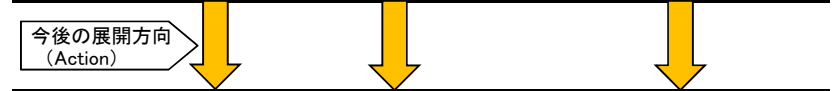
	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町内小中学校における教職員が使用するパソコンの更新整備をしており、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
パソコン整備に伴い、均等な教育機会が図られており、計画どおり事業が進んでいます。		



継続/現状維持		
整備方法をバージョンアップ対応としているためパソコンの耐用年数を判断しながら、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止